

はら目ディカル通信

発行日 2000 (平成12)年10月10日
 改訂 2009 (平成21)年 3月9日
 発行 医療法人圭明会 原 眼科病院
 通算 第26号

白内障

I. 白内障とはどんな病気？

眼の中にあつてレンズの働きをしている**透明な水晶体が濁ったもの**をいいます。物がかすんで見え、視力が低下します(図1、2)。

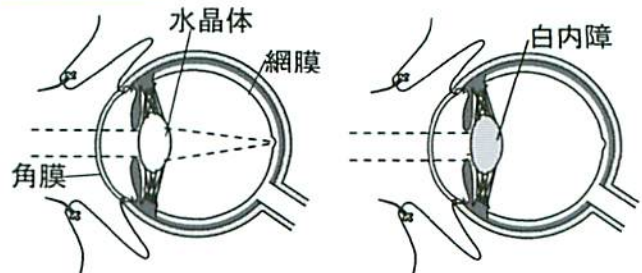


図1 正常の眼

図2 白内障の眼

II. 水晶体の働き

水晶体は透明で、外からきた**光を通すと同時に適度に屈折し、網膜にピントを合わせる役目**をしています。若い人の水晶体は、遠くでも近くでも距離に応じて膨らみを変え、ピントを合わせます。中年以降は硬くなり、どこか1点にしかピントが合わなくなります。

III. 白内障の種類

いろいろの種類がありますが、一番多いのは**年齢と共に出てくる老人性白内障**です。他にも先天性白内障、糖尿病性白内障、外傷性白内障、眼の病気に合併する併発白内障、などがあります。

IV. 白内障の治療

点眼薬と手術の2つがあります。

①点眼薬 **水晶体の濁りの進行を抑える薬**です。完全に進行を止める訳にはいきませんが、進行を遅くする可能性があります。

②手術

i) 時期 昔は、すっかり見えなくなってから手術をする方が良い、といわれたこともありますが、現在は手術の安全性が増したことや、高齢者の社会生活が一段と活発になったことにより、「**自分の生活に不自由を感じた時が手術をする時期だ**」というように変わってきました。車を運転する人は視力0.7程度で手術が必要になりますし、人によっては0.3になっても不自由を感じない方がいます。

ii) 方法 超音波を使用し、水晶体を眼の中で砕きながら吸い取っていくものが主流です。その他、水晶体をまるごと取り出すやり方もあります。

iii) 矯正 眼の中の眼鏡の役割をしている水晶体を取ってしまうので、ピントが合わない状態になるために、眼内レンズ、凸レンズの眼鏡、コンタクトレンズ、のどれかを使用します。**特別な理由がない場合は、眼内レンズを使用するのが一般的**です(図3)。眼内レンズは基本的には固定焦点なので、ピントは遠くか近くか、どちらかにしか合いません。足りない分は眼鏡で補います。2008年より遠近両用の眼内レンズが認可され、当院でも手術を行っています(ただし、自費診療です)。

iv) 入院か外来か 点眼の麻酔で痛みもなく短時間で手術をすることが可能となり、眼帯も翌日には取れますので、**入院または日帰りのどちらでも安全に手術を受けることができます**。各々**一長一短がありますので係とご相談下さい**。

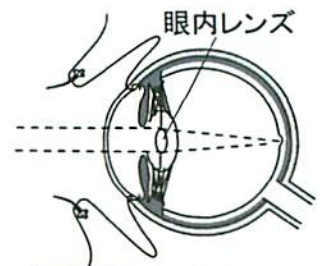


図3 白内障を取り眼内レンズを入れた眼